

事業名

住民を中心に据えた、ため池の希少植物保全活動

目的

ため池の堤体には古くから残る草原生態系が維持されており、歴史の長い草原生態系は一度失われると取り戻すことが難しく、保全に配慮する必要がある。上田市塩田平とその周辺のため池には多くの希少植物が生息していることから、**防災工事と保全の両立を目指し、ため池の希少植物保全活動「上田モデル」を推進**する。また、この取り組みを県内外に広めることで**貴重な草原の植物を保全**する。

実績

- ・草原植生について**学習会**、**植生保護検討会**を実施。
- ・令和4年度から**8箇所のため池で保全の取り組み**を実施。
- ・工事では**学識経験者の指導・助言**により、植物の根や種子が混入する**既存の表土を保管**し、ため池堤体に**活用**。

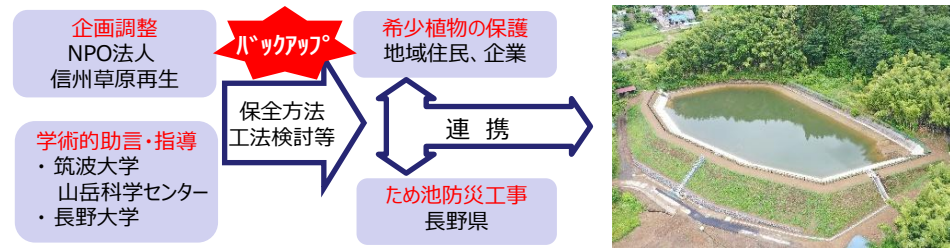
結果

- ・地域住民を中心に**多様な組織が連携、協力**し、**防災工事と希少植物の保全を両立**することができた。
- ・スズサイコ、フジバカマ、イヌハギなどの**希少種が根系から芽を出して定着**するなど、**早期に植生が復元**。**工事による影響を最小化**することができた。
- ・活動が評価され、「**NPO法人 信州草原再生**」が、**日本自然保護大賞2025**（主催（公財）日本自然保護協会）の「**選考委員特別賞**」を受賞。

連携相手

- ◆ 地域住民(塩田まちづくり協議会他) ◆ 日置電機株式会社
- ◆ 筑波大学山岳科学センター ◆ 長野大学
- ◆ NPO法人 信州草原再生

座組



学識経験者による学習会

